

環境報告書

Environmental Report

2021



国立大学法人
奈良女子大学

The National University Corporation
Nara Women's University

目次 Contents

環境方針	・・・ 2
環境取組体制 組織図	・・・ 3
環境配慮実施計画	・・・ 4
環境負荷実績	・・・ 5
環境配慮活動	・・・ 7
地域との連携	・・・ 8
関係法令、環境規制への対応	・・・ 9
大学概要	・・・10



環境方針

➤ 基本理念

奈良女子大学は、地球環境問題が現代の最重要課題の一つであるとの認識のもと、本学における全ての活動において、地球環境負荷の低減や環境保全等に努め、持続可能なキャンパスの構築を目指します。

➤ 環境方針

奈良女子大学は、以下に掲げる方針に基づき、本学における全ての活動において、地球環境負荷の低減や環境保全等に努めます。

1. 環境関連法規制の遵守

本学におけるすべての活動において、環境に関する法規制を遵守し、環境負荷低減と環境保全に努めます。

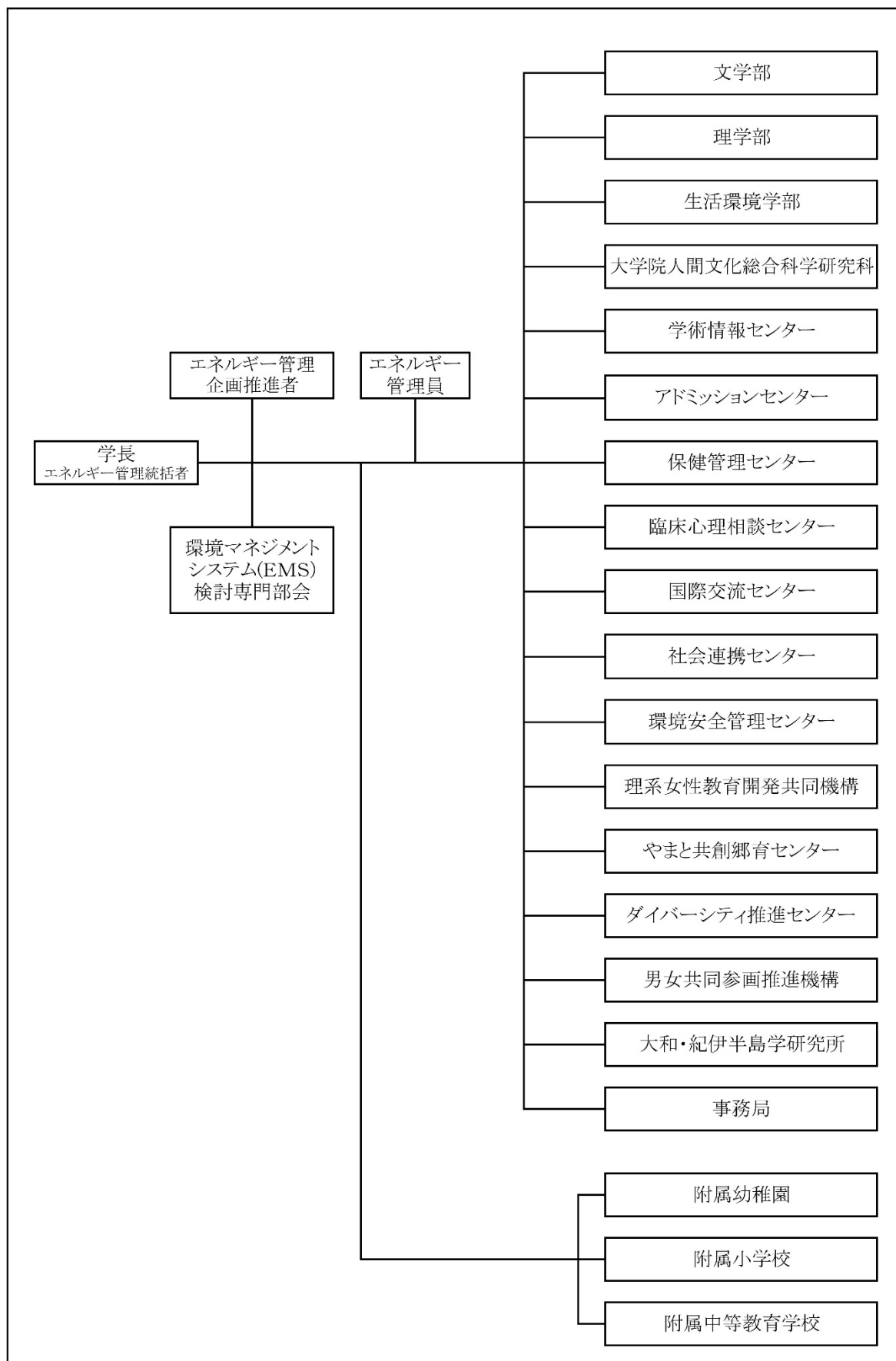
2. 環境マネジメントシステムの構築

環境マネジメントシステムを構築し、環境配慮実施計画の策定、環境配慮活動の実施及び定期的な評価・見直しを通じて、環境に関する取組の継続的改善を図ります。

3. 環境安全管理活動の推進

本学の教育研究活動における安全な教育環境並びに研究環境を達成し、教育研究基盤の向上を図るとともに、各種安全教育並びに啓発活動を効率的、総合的に実施します。

環境取組体制 組織図



奈良女子大学エネルギーの使用の合理化及び温室効果ガスの排出の抑制に関する規程 別表(第3条関係)

環境配慮実施計画

➤ 省エネについて

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国家戦略等の動向を踏まえ、本学における温室効果ガスの建物総延べ面積当たり排出量（排出量原単位）を中長期的にみて年平均1%以上削減することを目標とする。

【具体的な取組】

1. 財やサービスの購入・使用に当たっての配慮
 - (1) 低公害車の導入
 - (2) 公用車の効率的利用
 - (3) 自転車の活用
 - (4) エネルギー消費効率の高い事務用機器の導入
 - (5) 節水機器等の導入等
 - (6) 用紙類の使用量の削減
 - (7) 再生紙などの再生品や木材の活用
 - (8) ハイドロフルオロカーボン（HFC）の代替物質を使用した製品等の購入・使用の促進等
 - (9) その他

2. 建築物の建築、管理等に当たっての配慮
 - (1) 既存の建築物における省エネルギー対策の徹底
 - (2) 温室効果ガスの排出の抑制等に資する建設資材等の選択
 - (3) 温室効果ガスの排出の少ない空調設備の導入
 - (4) 太陽光発電等新エネルギーの有効利用
 - (5) 水の有効利用
 - (6) 周辺や屋上の緑化
 - (7) その他

3. 教育・研究活動等に当たっての温室効果ガスの排出の抑制等への配慮
 - (1) 温室効果ガスを多量に排出する実験の抑制
 - (2) エネルギー使用量の抑制
 - (3) ごみの分別
 - (4) 廃棄物の減量

4. 学生・職員に対する取組み体制・研修等
 - (1) 学生・職員に対する地球温暖化対策に関する取組み体制・研修の提供
 - (2) 地球温暖化に関する活動への学生・職員の積極的参加の奨励

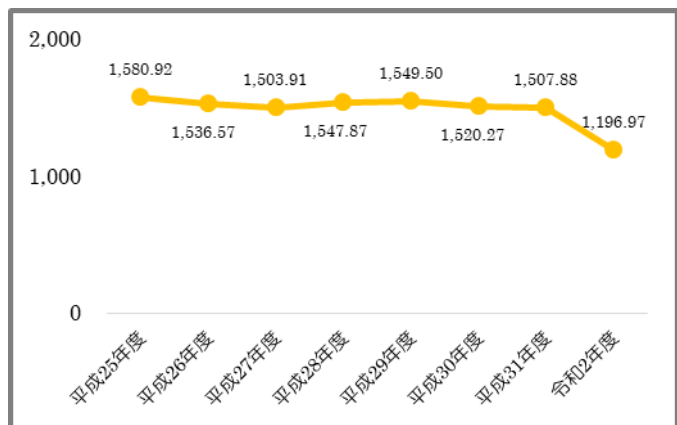
環境負荷実績

▶ 原油換算エネルギー使用量 (kL) ※北魚屋団地

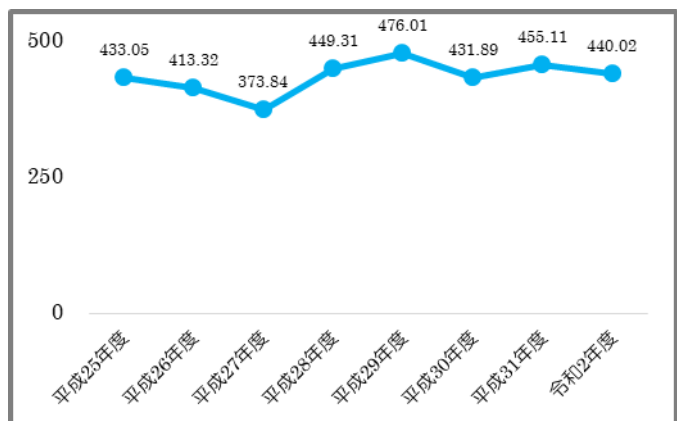


※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策（入構規制、オンライン授業導入、各種活動制限等）の影響による。

□上記のうち、
電気を原油換算
したエネルギー
使用量の推移 (kL)

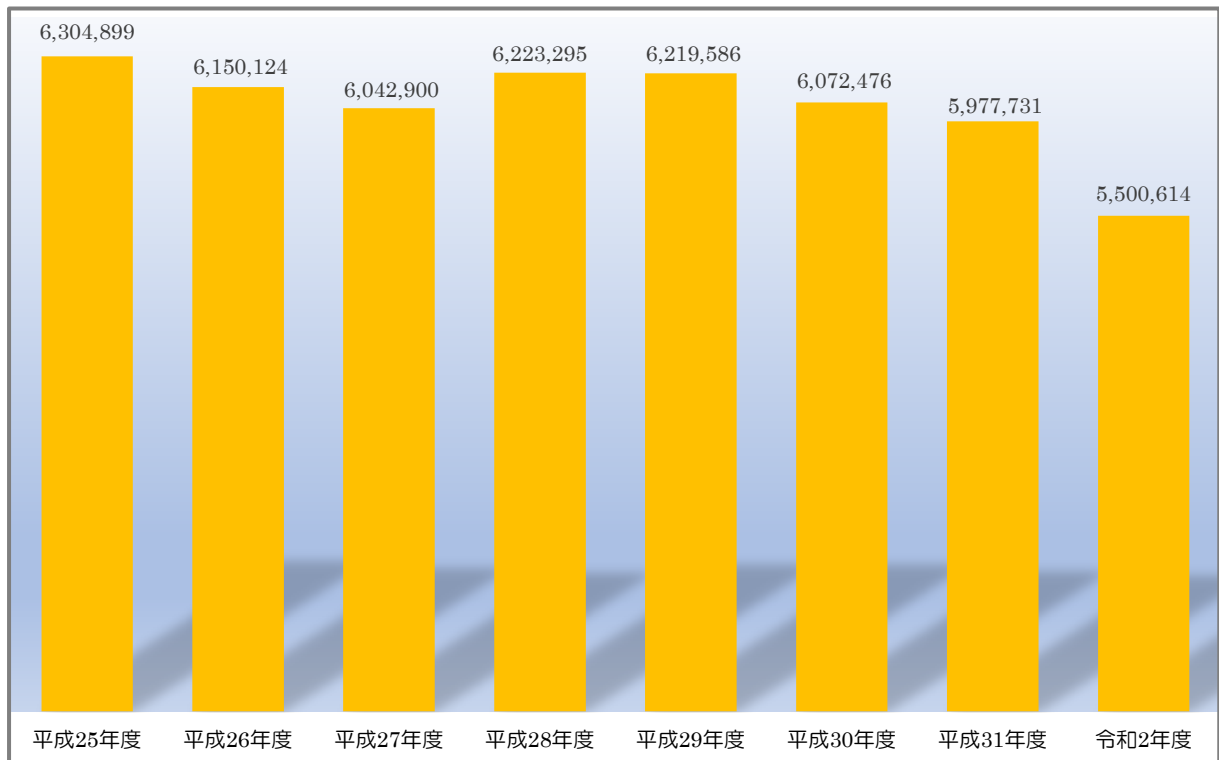


□上記のうち、
ガスを原油換算
したエネルギー
使用量の推移 (kL)



環境負荷実績

➤ 電気使用量 (kW) ※北魚屋団地



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策（入構規制、オンライン授業導入、各種活動制限等）の影響による。

➤ ガス使用量 (m3) ※北魚屋団地



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策（入構規制、オンライン授業導入、各種活動制限等）の影響による。

環境配慮活動

➤ 電気使用量・ガス使用量の見える化

電気使用量及びガス使用量の実績データをグラフ化し、経年変化の実態の把握に努めるとともに、学内専用Webサイトにそのデータを掲載することにより、学内における情報共有を図り（見える化）、教職員への省エネ意識の醸成を図っています。

➤ 省エネルギーの協力要請

夏季・冬季の年2回、教職員へ省エネルギーの協力を要請しています。

教職員 各位

学長 今岡 春樹 (公印省略)

冬季の省エネルギーの取組について (依頼)

このことについて、文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長から冬季の省エネルギーの取組の推進について依頼がありました。本学においても「奈良女子大学における省エネルギー目標」を定め、省エネに御協力を頂いているところですが、より一層の省エネに御協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。

教職員 各位

学長 今岡 春樹

夏季の省エネルギーの取組について (依頼)

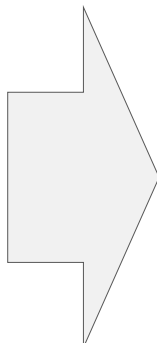
令和3年5月31日付け3文科施第68号にて文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長から「夏季の省エネルギーの取組について」依頼がありました。本学においても「奈良女子大学における省エネルギー目標」を定め、省エネにご協力を頂いているところですが、より一層の省エネにご協力のほどよろしくお願いいたします。

➤ 改修工事に伴う省エネ化

改修工事に伴い、講義室やトイレの照明器具をLED化することにより電気使用量の削減を図っています。また、空調設備や衛生器具の更新の際は、高効率機器への更新を図っています。



改修前（蛍光灯）



改修後（LED）

地域との連携

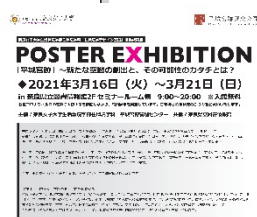
➤ 環境に関する地域との取組について

奈良女子大学では、地域との連携活動を円滑に継続するため、行政他、各種団体と連携しています。

人間社会と自然環境の共生のための科学—共生科学—を通して自然の保全と再生に資する研究を進めることを目的とした、共生科学センター分室を東吉野村に設置し、中学・高校生向けの野外実習や地方自治体や森林組合などと連携して、地域の人達と共に学ぶシンポジウムや自然観察会を開催しています。

また、平城宮跡管理センターや歴史公園等と連携事業を実施しています。

開催年月	取組
2021年3月	平城宮跡管理センター共催 POSTER EXHIBITION
1月	桜井市連携公開講座 「古代日本の多様な漢字世界」
2020年12月	自然科学考房地域貢献事業 「数学と理科の体験工房2020」
	下市町×大和・紀伊半島学研究所連携シンポジウム
11月	理学部地域貢献事業 「サイエンス・オープンラボ」
10月	野外体験実習 「アリのまとう匂いの不思議」
9月	平城宮跡歴史公園連携事業



関係法令、環境規制への対応

➤ 化学物質等の適正管理

薬品管理システム（IASO）による化学物質及び高圧ガスの管理

PRTR対象物質の取扱量の把握

➤ 実験系廃棄物の適正処理

実験廃液・実験系廃棄物の定期的な回収・処分

➤ 適正な作業環境の維持

全学衛生巡視の実施

➤ 排水の適正管理

排水水質検査の実施

排水水質の管理

➤ 環境配慮型プロポーザル方式の実施

国の方針に基づき、設計業務の発注において環境配慮型プロポーザル方式を採用

➤ その他、環境関連法令への対応

本学が関係する主な環境関係法令（省エネ法、温対法、環境配慮契約法、グリーン購入法、フロン排出抑制法等）の遵守

大学概要

➤ 大学運営・教育研究上の基本組織

右図参照
(2021年4月1日現在)

➤ 学生数

学部学生 2,145名
大学院生 529名
外国人留学生 153名
(2021年5月1日現在)

➤ 教職員数

教職員 371名
(2021年5月1日現在)

➤ 土地・建物

土地 180,310m²
建物延面積 96,629m²
(2021年5月1日現在)

➤ 団地

北魚屋団地（東町構内、西町構内）、半田団地、東紀寺団地、百楽園団地、学園北団地、法蓮団地、北小路団地、吉野団地

2021年4月1日現在

